JF大分
水産おおいた
2026年11月
195号
発行元
大分県漁協
http://www.jf-oita.or.jp/

かぼすブリ旬入り宣言式








「おおいた県産魚の日」運営委員会（会長：山上誠二大分魚市㈱代表取締役社長）は10月1日、大分市公設卸売市場において、かぼすブリの旬入り宣言式を行った。

山上会長、大塚猛県農林水産部審議監の挨拶につづき、中根組合長が「味よし、香りよし、見た目よし、の三拍子そろったかぼすブリの出荷が始まる」と旬入りを宣言、塩手和幸大分市水産物小売商業協同組合理事長が頑張ろうを唱和し、夏場の高水温でサイズが小さく旬入りが遅れた昨年よりも1カ月早く今シーズンの販売がスタートした。

出荷は3月末までで、昨年（445トン）よりも多い572トン（約13万尾）の出荷を目標に掲げている。

祝 疋田一則さん（鶴見支店）が「漁協系統功労者表彰」を受賞

疋田一則鶴見地区漁業運営委員長が、JFグループの模範として漁業協同組合系統運動の推進及び発展に功労があったとして、2026年度の漁協系統功労者（漁協運動功労者）に選ばれた。

表彰式及び祝賀会は11月19日、東京都の如水会館において開催。疋田さんが出席される予定。

おめでとうございます。

益々のご活躍をお祈りします。



「おおいたの魚キャンペーン」始まる

大分県漁業管理課では、10/17～11/16の間、「おおいたの魚キャンペーン」を開催しています。

県内の量販店等でキャンペーンシールを張ってある商品を買って、QRコードを読み込み、アンケートに答えることで応募が終了。その場で抽選結果がわかる仕組みで、当たった人（計120人）には後日「かぼすブリしゃぶしゃぶセット」などが届きます。食欲の秋、県産魚を「知って、買って、食べて」ください。



大分県農林水産祭おおいたみのりフェスタが開催

10月17、18日、別府公園において開催された。17日は開会式が開催され、主催者として農林水産祭実行委員会会長の佐藤樹一郎知事が「今年の夏は暑く水不足などもあったが、生産者にはしっかりと作っていただいた。水産では火災を乗り越え復活した関アジ、関サバなど多くの産物が集まった。2日間楽しんでもらいたい。」と挨拶。

その後、長野別府市長、嶋県議会議長の挨拶があり、餅まきも行われた。

両日とも天候に恵まれ、各ブースは朝から新鮮な魚介類や農産品を買い求める客で行列ができるところもあった。県によると2日間の来場者数は78,000人で、昨年より6,000人増えた。













編集後記

先日コキアを観に農業文化公園に行ってきた。今年は台風の影響が少なく良い形だったが、丸くて涼しそうな風のが吹くとか。人が来ていた。今期30個目の台風が九州を窺っているけど何事もなく過ぎたがつてドキドキしたけど何事もなく一月、あと何個できる？（大）

